

第1回箕面駅周辺整備方針検討懇話会会議概要

(7月19日実施分)

議題説明の趣旨

箕面駅周辺の主な施設（駅前広場、市営駐車場・駐輪場等）については、機能、設備、景観等の面でそれぞれ課題がある。これらを個別に検討するのではなく、面的な一体整備の視点で検討するべく、箕面駅周辺整備方針検討調査事業を実施することとなった。今後は、市民や商業者、TMO（箕面わいわい株式会社）、行政職員等で構成する箕面駅周辺整備方針検討ワークショップで出された意見、要望を、この検討懇話会において、専門的な視点から協議してもらい、整備基本計画を策定していきたい。

議題1 懇話会委員長及び副委員長選出について

議題2 懇話会の運営について【資料3】

事務局より資料3に基づき、方針検討の進め方、懇話会の位置づけについて説明

議題3 整備方針検討に至る経緯と駅周辺の現状について【資料4】

事務局より資料4に基づき、方針検討の背景と目的、地域の現状と課題の概要、ワークショップの進め方（案）、利用者意向調査の進め方（案）等について説明

主な質疑応答

構想、計画を検討する段階から、懇話会の意見を出したい。そのうえでワークショップ（以下WS）で検討するテーマを提示するべきではないか。

WSの位置づけにもかかわる。WSと意見や考え方のキャッチボールは、可能である。

WSのメンバーの人選は、どうなっているのか。商業者については、箕面地区の商業者を広範囲に選んで、構成したらいいと思う。

各委員から後で、推薦していただきたい。

懇話会の与件は、そのままWSでの与件となるのか。

WSでは、表現は変えるとしても、同じ内容を提示する予定である。

WSでは、この与件の範囲内で、自由な意見が出るのか。

WSの進め方次第だが、信頼関係を損ないたくないため、与件はあらかじめ知らせ、そのなかで考えていただく。

WSと懇話会の役割は、どう違うのか。

WSでは、自由な発想でアイデアを出し、提案してもらう。WSは意見集約の場であり、意見をまとめてしまうのが目的ではない。懇話会では、それをもとにアンケート等の結果を合わせて具体的な計画づくりをする。

与件では、市営第一駐車場の建て替えは長期的課題に位置づけるとのことだが、これから

検討する整備基本計画が箕面市中心市街地活性化基本計画に基づくものであれば、長期といえども、平成26年度までの話になるのではないかと。

箕面市中心市街地活性化基本計画で平成26年度までとなっているのは、駐車・駐輪場の整備・改善という施策である。施策では既設駐車・駐輪場の美装化、機能更新という言い方をしている。建て替えについては、平成26年度よりも後の長期的課題として対応していくということで、行政内部では確認している。

駅前広場と市営駐車場が箕面駅周辺整備、活性化の最大のテーマだと思う。

駐車場は美観・景観の面だけでなく、利用形態や機能面の課題もある。駅前広場は、今は噴水が故障して休止している状態だが、それをどうするのか。そういったことを議論していただきたい。

まとめ

- ・懇話会委員長は加藤委員、副委員長は平井委員に決定
- ・駐車場の建て替えは、平成26年度よりも後の長期的課題
- ・ワークショップの商業者のメンバーについては、特定の団体に偏らないよう、バランスよく構成する。
- ・検討懇話会における市民の傍聴を認める。

